

魅力的で楽しい行事の開催

奈良県生駒市 鹿ノ台北桜美会 会員数 216名

・行事の種類を増やし、内容も楽しく

鹿ノ台北桜美会では、平成16年から会員の減少傾向がつづき、平成25年には会員数が44名まで落ち込みました。こうした状況に危機感を抱き、平成26年度からは会長交代による新体制の下、新たな気持ちで会員増強運動をスタートさせました。

まず行事を楽しいものにするため、企画や演出に力を入れました。その結果、「非常に楽しかった」と言って帰られる方が増え、次回には友達などを誘って参加する方も多く見られるようになりました。

同時に、3種類だった行事を8種類に増やしました。その一例に「いきいき百歳体操」があります。これは生駒市老人クラブ連合会が生駒市地域包括ケア推進課と共同で企画・推進しているもので、当クラブもこの企画に乗って毎週金曜日の午後に開催しており、参加者からは大変好評を得ています。

このように行事の種類を大幅に増やしたこと、平成30年度は月に11回、年間で127回の行事を開催し、月に延べ268名の方たちがいずれかの行事に参加してくれました。

・入会金・年会費を無料に

当クラブでは月報を発刊し、会員全員に配布しています。月報には、先月の行事の様子や今月の行事日程などクラブの情報をきめ細かく掲載しており、この月報が会員をつなぐ役割を果たしてい



愛称「クニちゃん」サロン

ます。

また、平成27年度までは会員のみなさんから500円の年会費をいただいていましたが、平成28年度からは入会金・年会費を無料としました。会の運営費は市老連や自治会からの補助金で賄っています。入会金・年会費を無料にしたことで、勧誘がしやすくなったとともに、幹事にとっては集金業務にあてていた時間を友愛活動に振り向けることができるようになったなどのメリットがあります。

・エネルギーが新たな仲間を呼び込む

「100万人会員増強運動」スタート前の平成25年の会員数は44名でしたが、毎年多くの新規加入者を迎えることができ、平成30年には4.9倍の216名になりました。

同時に、鹿ノ台北桜美会を生活の楽しみの場とする人が増えている、いきいきした方が増えている、マージャン仲間や体操仲間などから新たな仲間が広がっている、行事の前準備や後始末を進んでやる方が増えている、サロン（自由な集まり）が増えているなど、さまざまな成果が表れています。

元気な方、いきいきした方が増えると、その方たちによって鹿ノ台北桜美会が活気づき、行事を開催する会場にも大きなエネルギーが満ちてきます。そのエネルギーが参加した方に元気を与え、新たな仲間を呼び込んでいるのだと思います。



いきいき百歳体操